

世帯と人口

(昭和62年1月1日現在)  
 世帯 30,050世帯 (+117世帯)  
 人口 96,245人 (+357人)  
 男 49,508人 女 46,737人

毎月1日・15日発行

# 広報えびな

編集・発行  
 海老名市役所秘書広報課  
 〒243-04  
 神奈川県海老名市園分155  
 ☎ (0462) 31・2111

## 申告するとお得です



### 確定申告受付は2/16 ~ 3/16

61年分所得税の確定申告受け付けが2月16日から3月16日まで行われます。確定申告をする必要のないサラリーマンの方でも多額の医療費を支払ったりした場合、還付申告をすると徴収された所得税の一部が還付される場合があります。そこで、今回は確定申告（還付申告）についてお知らせいたします。

#### こんな場合税金は戻る

サラリーマンの場合、所得税や住民税は月ごとの給料から天引きされますが、その金額は年の暮れに提出した年末調整のための申告書で決められ、その年の最後の給料が年末賞与と一年分の所得税が精算されます。この精算を年末調整と呼びます。

このため、サラリーマンの場合、確定申告は必要ありませんが、次のような場合、確定申告（還付申告）をすると、源泉徴収された所得税から還付され

る場合があります。

○住宅を新築したり、購入したとき  
 六十二年一月一日から六十二年十二月三十一日までの間に、家屋の新築やマンションなどを購入して、自分が住んだときには住宅取得控除が適用されます。この住宅取得控除は、借金して自分の住む家を手に入れた人の所得税が安くなる制度です。ただし、無条件ではなく床面積や所得要件などいろいろな制限があります。詳しくは、担当者に相談してください。

○多額の医療費を支払ったとき  
 病気、けが、出産などの治療に支払った家族全体の医療費が年間五万円（所得の合計額が百万円までの方は、所得の合計額の5%）を超えたときは、医療費控除として、所得から差し引くことのできる額を、医療費の総額から、保険金などで補てんされる額を引いた額で、最高二百万円までです。

この控除の対象となる医療費の範囲は広く、病院に直接支払ったもの以外に、通院費とか療養に直接必要とする付添費の費用なども含まれます。控除を受けるには、原則として領収書が必要で、

○年の中途で退職し、その後就職しなかったときや年の所得が少なく、原簿料や配当の所得があったとき  
 なお、一般の確定申告は、二月十六日以前ですが、還付申告は二月十六日以前でも受け付けられます。提出は厚木税務署

#### パート収入は90万円まで

給与所得の対象となるパートの年収が九十万円を超える場合は、配偶者控除を受けられませんが、また、九十万円を超える場合は、パート収入に所得税がかかる場合があります。給与所得

#### こんな方は申告を

次の方は申告が必要です。  
 【事業、不動産、利子、雑所得などがある方】  
 六十一一年中の各種所得金額（建設関連工事などに従事する方で、給与などから所得税の源泉徴収をされていない方も含む）の合計額から基礎控除、その他の所得控除の額を差し引き、その金額を基にして算出した額が配当控除の額より多い方  
 【給与所得がある方】  
 【譲渡所得がある方】  
 六十一一年中に土地や建物を売った方（自分の住まいを譲渡した場合三千万円までの特別控除が、買い換えるの特例が受けられるが、いずれも申告が必要）

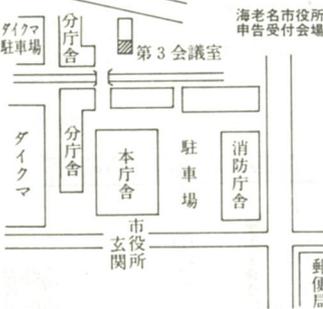
#### 税理士会の無料相談

税理士会厚木支部では、無料で確定申告書の書き方の指導をしています。なお、還付申告の相談もしています。ご利用ください。  
 ▷とき 2月19日、20日、3月5日～7日。午前9時～午後4時、ただし土曜日は正午まで。▷場所 海老名市中央公民館2階。

#### 「にせ税理士」にご注意

納税者の依頼による税務代理、税務書類の作成、税務相談などの業務は、税理士法によって税理士の資格のない人はできないことになっています。にせ税理士は専門的知識にも乏しく、また、仕事を通じて知った秘密を他に漏らすなどの不祥事もあるようです。税務書類の作成などの依頼は正規の税理士にしましょう  
 —税務署からのお願い—

◆確定申告と市県民税の申告受付  
 2月16日～3月16日、会場は市役所第3会議室を予定（但し、61年中に土地や建物を売った場合は厚木税務署へ）。受付時間は平日（午前8時半～11時半、午後1時～4時半）土曜日（午前8時半～11時半）。案内図を市役所玄関前、市民税課窓口などに掲示しますので、参照ください。問い合わせは市民税課（内35）厚木税務署 ☎21・3261。







火を囲み老若男女がどんど焼きを

# 今年も息災

## 市内各地でどんど焼き

一月十四日、市内各地でどんど焼きが行われましたが、大谷八幡社下では、約四十人の老若男女が昔ながらの方法でどんど焼きを行いました。

め、ワラやしめ縄を使い道祖神を囲むように社を作り、この社にお供えが済むと、いよいよどんど焼きの開始。持ち寄った書初め、お飾り、門松などを燃やします。この火に乗って書初めが空中に高く舞い上がると言われ、いよいよ火勢が弱まると、うらみ米で作ったたんとをキラの木にさし、火にかざします。歯痛に効力があるといわれる薄茶煙を浴びながら、世間話に花を咲かせていると、やがてどんど焼きの火が燃え上がり、今年もいよいよ無病息災、健康を祈ります。



焼けただんごは互いに交換



書初めは高く舞うほど習字が上達

# 各地



▽服用ポンプ中央を使って古式消防を披露

# 町火消



自治会員の初期消火訓練

式典は消防隊の分列行進、消防行政に功績のあった百五十六人、団体の表彰などに続き、社家自治会会による初期消火訓練、自衛消防隊と社家十一分団による消防法が行われました。



ひさかたの、カットは海西中学校 3年 大橋洋子さん

# 自主的に練習

## 海西中で百人一首大会



クラスのために頑張るぞ!

お正月につきもの百人一首、その学年別クラス対抗大会が海西中学校(亀井英二校長、生徒数約100)で、一月十六、二、十三、十八日に行われました。この大会は国語科の二課として、同校創立当初から行われている伝統的な行事。百枚の札のうち半数以上を一人占める名人級の生徒も多く、大会が近づくにつれ、放課後、自主的に練習する姿が、クラスを盛り上げています。



# 新たな旅立ち

## 成人式に900人

成人式が一月十五日、市文化会館で行われました。市内で今年成人式を迎えたのは千四百四十三人で、当日式典には、約九百人が参加しました。

# で新春行事



# 大作に挑戦

## 大谷中で書初め大会



書き終えた労作を互いに批評

年の始めに書道で精神統一を、一月十二日、十三日の両日、大谷中学校(関松夫校長、生徒数千人)で恒例の書初め大会が行われました。



# も登場

▽夜回りがたたく半鐘を合図に町火消しが出動

# 防出初式



一月十四日、小田急グラウンドで市消防出初式が行われ、市消防、市内全分団、八事業所、自衛消防隊、約九百人が同式典に参加しました。



女子自衛消防隊も初参加



ジャンボなかるたにすべりこみセーフ!

# 絵札に突進

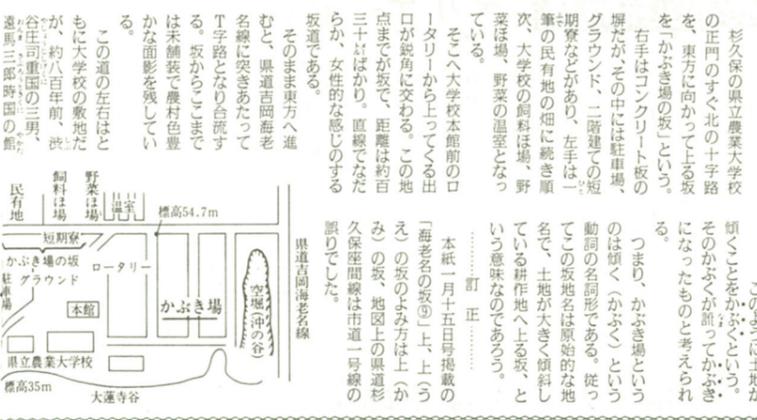
## 門小でジャンボかるた

親子が手をつなぎ、グラウンドいっぱい配られた大きなかるたを取り合う「親子ジャンボかるた大会」が一月十七日、門小で開かれました。

# 海老名の坂



市史を訪ねてかぶき場の坂。あった所と伝えられている。道の南側の東端は、谷戸が深い。谷戸をなぞって自然の空をなぞって、この地域では「かぶき」と呼ばれている。





市駅伝競走大会  
82チームが参加

一月十一日、市駅伝競走大会が行われました。今年の出場チームは、去年の六十五チームを大きく上回る八十二チームで、自治会対抗、事業所対抗、中学校対抗、女子対抗の四部門に分けられて競われました。八十二チーム中の一着タイムは、国分チームの二時間二十四分十五秒でした。



82チームが一齐にスタート(柏ヶ谷小)

優勝は国分チーム

各部門別の成績は次のとおりです。  
▽第16回市駅伝競走大会  
▽自治会対抗の部(7チーム参加)  
①国分(新井鉄也、志賀英介、宇田川雅紀、中条健史、迎山幸也、松本幸穂) 1時間24分15秒  
②上泉(松田宏紀、清田栄、加藤博、谷口寿人、谷口康夫、高山信行) 1時間33分35秒  
③みずほ自治会(樋口民雄、久保田誠、小川秀行、石井恒夫、香川良民、甲一盛) 1時間34分41秒  
④門沢橋自治会⑤大谷自治会⑥上郷自治会⑦今里

◎同地区間賞(1区15・8分、2区14・2分、3区13・7分、4区12・8分、5区11分、6区10分) 1時間24分15秒  
①国分(新井鉄也、志賀英介、宇田川雅紀、中条健史、迎山幸也、松本幸穂) 1時間24分15秒  
②上泉(松田宏紀、清田栄、加藤博、谷口寿人、谷口康夫、高山信行) 1時間33分35秒  
③みずほ自治会(樋口民雄、久保田誠、小川秀行、石井恒夫、香川良民、甲一盛) 1時間34分41秒  
④門沢橋自治会⑤大谷自治会⑥上郷自治会⑦今里

去年の雪辱はたす

5つの区間で区間賞

国分チーム



八十二チーム中の一着タイムを出した国分チームの監督宇田川雅紀さんは、「去年は自治会対抗の部では優勝できたが、出場チームの第一位にはなれず、今年こそは、この思いで優勝をねらっていた。五区間でトップを確保でき大満足です」と話しています。

海老名市  
川寿稲荷の初午祭

第153話  
川寿稲荷の初午祭

江戸初期、海老名郷の領主高木氏二代目の主水正正次が、元和九年(一六二三年)に河内国(現大阪府内)丹波城主に転封されたとき、家臣のうち六人は帰郷して中新田に残った。そのうちの杉本家がいつのころから屋敷の隅に稲荷を築いたところ、たいへんあらたかお稲荷さんだと評判となり隣近所から参詣に来るようになった。

その頃は三月一日が禊立の日で、「正一位川寿稲荷大明神」と書かれた大旗をはためかせ、まず祝盃をあげる。祭の前日の午後から青年たちが各戸から白米を拾い、サトイモ、ダイコン、ゴボウ、ニンジンなどの野菜類やお汁粉の材料を集める。それらをその年の当番の家(宿と言ふ)へ持ち込む。そして宿負担のもち米ときや野菜の皮むきなどをして、煮物だけは近所の主婦たちの手をわすらわせた。

いっぽう、当日の余興として毎年芝居興行を催したので、別に一人ずつ出て舞台掛けをした。宿に当たった家は前年から炊事用の薪、座敷用のむしる織りなどの準備に急いだ。祭が近づくと畳の表面を掃除し、お汁粉の材料を集める。それらをその年の当番の家(宿と言ふ)へ持ち込む。そして宿負担のもち米ときや野菜の皮むきなどをして、煮物だけは近所の主婦たちの手をわすらわせた。



今も信仰を集めている中新田の川寿稲荷

この通りを太鼓を打ち鳴らしながら流して歩く。これが二番太鼓で、以下蒸し終わるとこけうび作りをするが、お粥三ばい分くらいの大むすびで、興にのつてそれを互いに投げ合うこともあった。数は縁起をかついで七十個か七十七個、約半俵分の赤飯を握って半切り(底の浅いたらい状の桶)につめ、新しいこもを掛けておくが、作業が完了するのは明け方近くになる。正午に行われる式の前に、むすびを大八車に積んで運び神前に供える。神官による式が始まると、それが済むか済まぬうちに例のむすびのこもを取り、むすびの奪い合いが始まる。大ききいから三個が限度だが、懐には欲張って野良着で来て、懐へたくさん入れる者もいた。これを食べると無病息災で過せると言われ、みんなで分け合って食べた。

その夜の余興が終われば、役者を接待し一泊させて翌日送り出し、すべての後片付けが済むと今度は銭洗いという慰勞会だ。

勇、近藤民男、小野沢正博) 1時間26分16秒  
③雪印乳業A(長尾浩、久慈久男、伊藤義一、中里安一、前田良治、小渡茂) 1時間26分32秒  
④海老名高硬式野球部A⑤座間警察署の相鉄ヘルスロードA⑥海老名高陸上部B⑦海老名高教員⑧中央農業高⑨中央農業高教員⑩海老名高硬式野球部B⑪教員⑫海老名高硬式野球部C⑬名高陸上部D⑭海老名JCB⑮ギンの会⑯海老名高陸上部C⑰海老名高剣道部⑱海老名高硬式野球部⑲建設業協会のロートルス⑳農業大学校㉑とことん大谷消防団の相鉄ヘルスロードB⑳杉小クラブの力マさん  
▽同地区間賞 1区1加藤力市消防署 17分36秒、2区1早川節男(海老名高教員) 13分38秒、3区1藤井博昭(有馬高陸上部) 11分53秒、4区1柏当晃(有馬高陸上部) 9分0秒、5区1佐藤正典(有馬高陸上部) 14分34秒、6区1小野沢正博(市消防署) 16分31秒  
▽女子(25チーム参加)  
①有馬高女子陸上(加古川巴田、大附由紀、新井恵美) 22分10秒、2区1大附由紀(有馬高女子陸上) 17分0秒、3区1田中紀江(大谷中) 14分24秒、4区1和田誠子(有馬高女子陸上) 11分7秒、5区1出口端由香(有馬高女子陸上) 17分27秒、6区1佐藤真由美(大谷中) 20分36秒  
▽中学生の部(23チーム参加)  
①有馬中門沢橋(柏ヶ谷中野球部) 15分43秒、3区1小島慎也(大谷中) 12分31秒、4区1野添利道(今泉中) 9分31秒、5区1青木裕明(有馬中門沢橋) 14分50秒、6区1松田明大(有馬中門沢橋) 18分19秒



第2区中継点に向かって力走(中新田)

名中(瀬頭功、田畑剛、石川秀俊、柳田基、佐々木誠、松田明大) 1時間34分29秒  
③柏ヶ谷中野球部A(伴正男、藤本淳、田敏忠、西村功、田中和哉、土屋章) 1時間34分34秒  
④今泉中A⑤大谷中A⑥中心学園の柏ヶ香(有馬高女子陸上) 17分27秒、6区1佐藤真由美(大谷中) 20分36秒  
▽中学生の部(23チーム参加)  
①有馬中門沢橋(柏ヶ谷中野球部) 15分43秒、3区1小島慎也(大谷中) 12分31秒、4区1野添利道(今泉中) 9分31秒、5区1青木裕明(有馬中門沢橋) 14分50秒、6区1松田明大(有馬中門沢橋) 18分19秒

海老名むかしむかし  
☎33-3838  
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。  
1月26日～2月8日 第41話 海老名のクニシ  
2月9日～2月22日 第42話 岡田の渡し